

チャンスは日本にあった





**Join Japan<sup>MTT</sup>**

健康  
・  
美容  
・  
ビジネス  
・  
投資





# 目次

はじめに	4
社長からのご挨拶	5
会社概要	6
JOIN JAPANの志と目的	8
ウクライナでの活動	11
日本での活動	20
世界での活動	37
おわりに	43

# はじめに



「JOIN JAPAN」とは、日本とあなた様をおつなぎするプロジェクトの名称です。  
ポテンシャルや強みが異なる新しい市場でこれまでにはなかった、

- ・新しい商品を取引するチャンス
- ・新しい技術を導入するチャンス
- ・新しいサービスに投資するチャンス

など、次々と生まれてくる

「新しいチャンス」を

あなた様にご案内いたします。

創設者

三島悟

# 社長からの挨拶



社長：ロマン・フラモフ

ニッポンにおける戦後の急成長には、驚きを隠せません。それと同時に、どのようにそれが実現できたのか、ウクライナは勉強させてもらうべきところが多々あるのだろうと考えております。

弊社は、ニッポンという特別な成功国の歴史と、ニッポン人という崇高な人柄と、その両方に着目し、ウクライナ国の再活性化のヒントを得たり、ウクライナ国の発展に寄与していきたいと思っております。

「ニッポンの皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。」

---

ロマン・フラモフ

# 会社概要

社名: M.T.T LLC

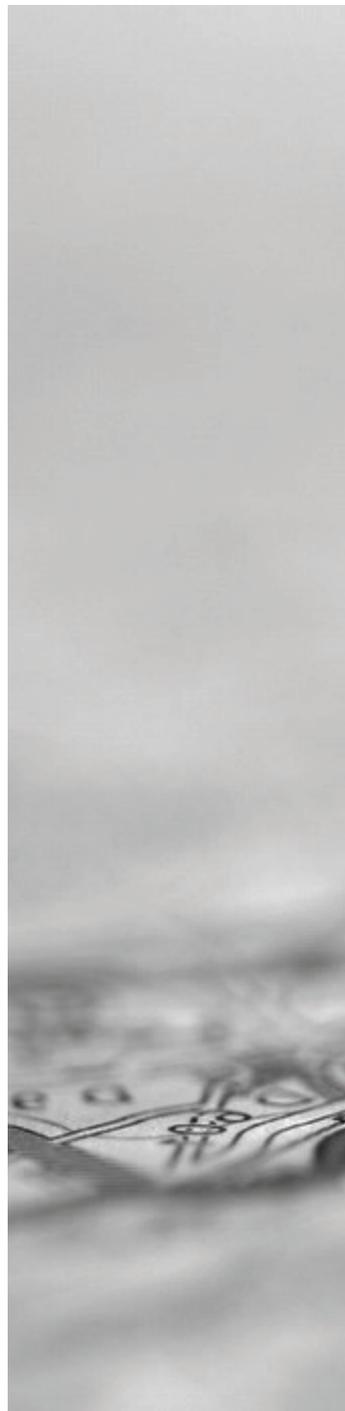
プロジェクト名: JOIN JAPAN

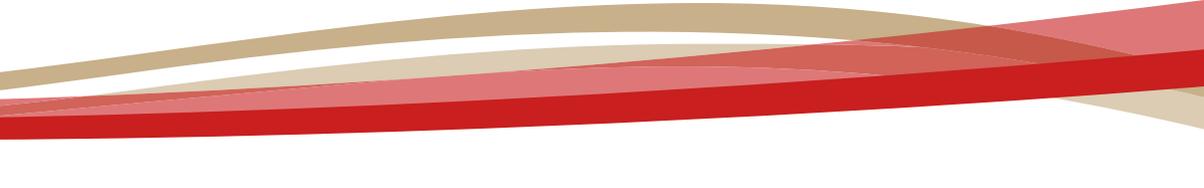
所在地: Office 20, Vatslava Havela Boulevard, 4  
Kiev, 03124, Ukraine

社長: ロマン・フラモフ

事業内容: コンサルティング、国際ビジネスサポート、ビジネスツーリズム、フォーラム

公用語: ウクライナ語、ロシア語、日本語、英語





# JOIN JAPAN の志と目的

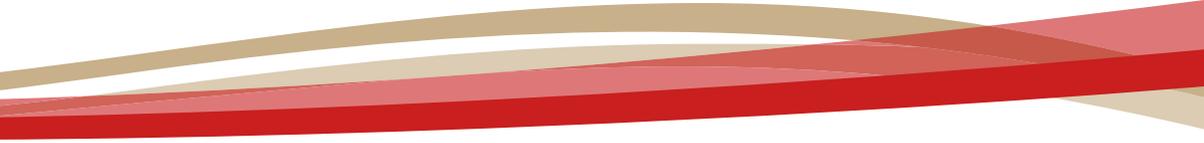
## 志

もっともっと日本とつながっていただき、新しいチャンスをつかんでいただくこと

## 目的

- 新しい製品・技術のご紹介
- 最新の経済・研究のご紹介
- 国外展開したい企業のご紹介
- ベストマッチングする企業との縁結び
- ウクライナ進出時のきめ細かいサポート
- 日本進出時のきめ細かいサポート
- 各市場のマーケティング
- カントリーリスクマネジメント
- 政財界の国際的な活動のサポート







# ウクライナ での活動





ゼレンスキー大統領と楽天のCEOとの記念写真・ジョインジャパンの三島悟によって主催された会議にて



ウクライナの大統領と日本のビジネスの代表者はウクライナと日本間のイノベーションご協力、または、ウクライナの投資環境の改善について会談中



三木谷浩史はRakuten Inc.が所有しているViberの新しいオフィスを開設するためにウクライナをご訪問



日ウ友好議連の森会長・遠山副会長・盛山先生・角大使との記念撮影



日ウ友好議連の遠山副会長・盛山先生と、ウクライナのエネルギー大臣との記念撮影



ウクライナ迎賓館で催された日ウの懇親会



ウクライナのエネルギー大臣と、日本法人の社長との記念撮影



日ウ友好議連から頂戴した友好の記念品をICUのマカル・パセニク氏へ贈呈



日ウ友好議連から頂戴した友好の記念品を大統領府元長官のベラ・ウリアンチェンコ女史へ贈呈



オデッサオープンイノベーションフォーラムにて、オデッサ州の学長達と歓談



オデッサオープンイノベーションフォーラムにお集まりいただいた学長、市長、地元有力企業の皆様



「クリニチ」パン工場を見学させていただいた際の記念撮影



ウクライナ国立農業科学アカデミーにて、記念撮影



国立ウーマニ園芸大学での記念撮影



国立ウーマニ園芸大学にて行われた、日ウ健康農業イノベーション会合



オデッサの造船設計事務所での打ち合わせ風景



農業ポリシーと食糧省で行われた日ウ健康農業イノベーション会談後の記念撮影



オデッサの造船設計事務所様との打ち合わせ風景



ニコラエフ造船大学にて、大島造船所の久保様にご挨拶されている様子



ニコラエフ造船大学学長から大島造船所の久保様に本をプレゼントしている様子



ニコラエフ造船大学にて、ウクライナの造船の歴史を説明している様子



大島造船所様、設計部主務の河上様が設計図の解説をしている様子



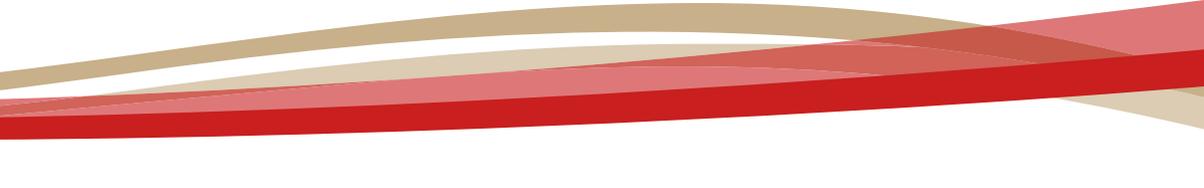
大島造船所の久保様と、ニコラエフの設計会社ユーリ様



大島造船所、設計部長の久保様がテレビ取材を受けている様子

# 日本での活動







富岡勉 文科学副大臣とサイバーセキュリティ人材育成戦略について行われた会談後の記念撮影



加藤勝信大臣との会談後、是非ウクライナにお越しく下さいというお誘いも兼ねて歓談した際の様子



加藤勝信大臣との記念撮影



日ウ間で行われた安倍総理大臣とポロシェンコ大統領との首脳会談時に、サイバーセキュリティ共同戦略を提案してくれた加藤勝信大臣への御礼と、日本政府のサイバーセキュリティ強化に、ウクライナが力になりたい旨をお伝えした会談の様子



サイバー講演終了後に遠山清彦議員と濱村進議員と一緒に記念撮影



右から平井卓也議員、遠山清彦議員、ロマンシュップ、田中雅人



超党派で行われたサイバーセキュリティ講演の様子



超党派で行われたサイバーセキュリティ講演の様子



北村誠吾議員と『日本を守りたい』という一点において合意



現安全保障委員長であり元防衛副大臣を歴任された北村誠吾議員と、世界に親友(親日国)を増やしていく事で、日本のサイバー空間に安全が訪れるという議論が行われた様子



千葉大学にて副学長様らを含む皆様との  
記念撮影



千葉大学にて学術交流、留学、サイ  
バー人材育成などについて行われた  
会談の様子



外務省首席事務官の柿原様と、日ウ間におけるサイバーセキュリティ共同戦略に関する  
会談後の記念撮影



外務省首席事務官の柿原様をはじめ、日  
本国外務省の方々で行われた日ウ間にお  
けるサイバーセキュリティ共同戦略に関する  
会談の様子



日ウの活動について外務省に説明  
をしてくださっている遠山先生



情報通信技術(IT)政策担当の島尻大臣。2020年東京オリンピックまでに日本国のサイバーセキュリティ強化を加速させる取り組み、セキュリティ人材を短期間で増やす方法について行われた会談の様子



情報通信技術(IT)政策担当の島尻大臣との歓談時の様子



情報通信技術(IT)政策担当の島尻大臣との歓談時の様子



日本の戦略パートナーであるニスコム社様の尾上社長、三石様らとの記念撮影



遠山清彦議員と日本政府のサイバーセキュリティ強化に向けて決意を新たに



遠山夫妻と在日本ウクライナ大使であるイーゴリハルチェンコ様との記念撮影



遠山先生の政経フォーラム



長崎大学にて行われた学術交流、留学、サイバー人材育成などに関する会談の様子



長崎大学にて行われた学術交流、留学、サイバー人材育成などに関する会談の様子



ネピュレ社で行われた健康農業プロジェクト会議の様子



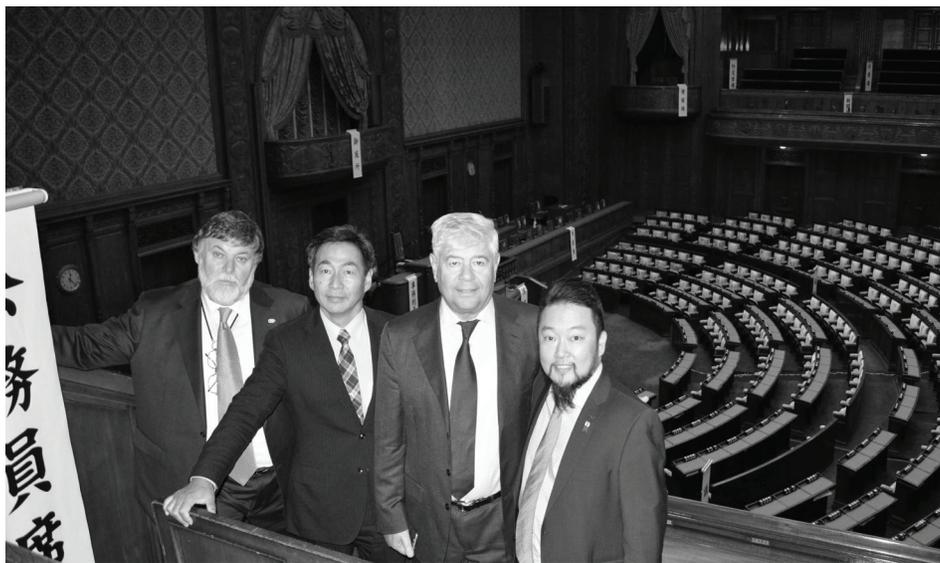
長崎県庁にて副知事様らと行われた会談の様子



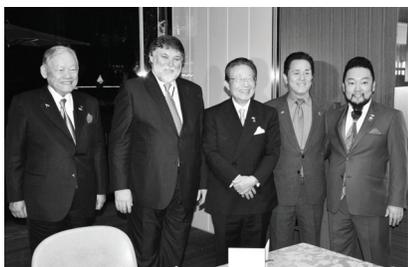
国際協力銀行(JBIC)様との記念撮影



坂本竜馬も通ったとされる史跡料亭 花月にて行われた会食の様子



日本の国会訪問時の記念撮影



大島グループ様との記念撮影(オリ  
ープベイホテル)



大島グループ様との記念撮影



大島造船所の深田様に、ウクライナの空母設計者直筆のサイン入りの本とプラモデル  
を贈呈する様子



大島造船所様と行われた日ウ造船協力に関する会談の様子



大島造船所様による歓迎パーティー時の記念撮影



大島造船所見学時の記念撮影



葵会様との記念撮影



藤野教授とプラズマローゲンに関する会議の様子



葵会様と日ウ間の医療事業における会談



西川元農水大臣との記念撮影



2018年の4月にCoinJapanのチームは東京で行われたAI-EXPOに参加しました



AI-EXPOにおいてCoinJapanはブロックチェーンのプロジェクトであるNeuromation-OSA を代表しました



スウェデンの「Supertext」というプロジェクトの設立者、マーティンさんと Fosun投資会社のオフィスにて



# 世界での活動





2018年5月にニューヨークで三島悟を含むCoinJapanのチームは、ブロックチェーンの業界にて一番有名なコンフェレンスである「Consensus」に参加しました



2018年のConsensusにてCoinJapan、ニューヨーク



ジョグジャカルタ（インドネシア）の女王との記念写真



ジョグジャカルタ（インドネシア）の女王とCoinJapanのパートナーのマーティン・ジャコブソン（SupertextのCEO）とのランチ中



ガーナの観光大臣らから、今後の課題をヒアリング



ガーナの教育大臣らと記念撮影



ガーナのメディアとパートナー関係の締結



ガーナの国際トレードセンター開発プロジェクトのリーダーと協議



# おわりに

ヨーロッパに進出したり、世界に進出したりする日本企業にとって、ウクライナは、最も条件が良い国の一つとなる必要があります。

カントリーリスクを少しでも和らげ、日本の人と技術、お金と製品が、もっともっと安全に市場を往来できるようにすべきです。

2015年、日ウの投資促進保護協定に署名が行われ、日本の国会、衆参ともに可決したこのタイミングは、弊社のスタートにとっても、最適なタイミングとなりました。

ウクライナ側でも、官と民が一体となって、日本企業のウクライナ進出を支援すべき時がきたのです。

ウクライナは、冷静な視点で、自国のために、自分達の方で、ウクライナへの投資活動やビジネス展開は危ない、という世界からの印象を変えていかなければなりません。

そこに取り組んでいくことで、ウクライナに、輝かしい未来が訪れるとともに、日本にとっても、新しい、有意義な市場の開拓が行えると確信しております。

MTTのチーム